



学びの庭

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り、
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814 山梨県甲府市上阿原町491番地 電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451 E-mail: tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

創立 明治5年
1872年

令和3年(2021年)4月30日

発行責任者 校長 山本英寿

新緑の若葉のように

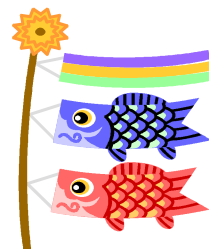
校庭の木々や街路樹が目には鮮やかな新緑に包まれ、風薫る季節となりました。若々しい葉は、ぐんぐん成長している玉諸小の子どもたちのようです。

さて、新年度が始まって1か月が過ぎ、学習や当番活動などの学校生活も軌道に乗ってきました。新しい友達と校庭で仲よく遊ぶ姿も見られます。最初は緊張していた1年



生もすっかり学校生活に慣れてきたようです。教室からは元気な返事や明るい歌声が聞こえてきます。

朝の集団登校での、班長さんをはじめ上級生が1年生を気遣いながら歩いてくる姿には感心させられます。下級生の子どもたちにとって、こうした優しいお兄さんやお姉さんに出会えたことは、とても幸せなことです。そして、今は下級生の子どもたちも、大きくなったら頼りになる上級生になってくれることと思います。上級生から下級生へと受け継がれていく玉諸小のよさを大切にしていきたいと思っています。



あいさつの輪を広げよう

人と人がコミュニケーションをとる上で最も大切なのが『あいさつ』です。目と目を合わせてあいさつをすることで、お互いの存在を認め合うことができます。朝の元気な「おはよう」「おはようございます」では、今日も一日、頑張ろうの励ましが、「ありがとう」には、相手への気遣いや感謝が、「さようなら」には、今日も一日楽しかったね、また明日など、それぞれの『あいさつ』には意味が込められています。

高学年の子どもたちには、あいさつのもつ意味を理解して、自分から進んであいさつができるようになってほしいと考えています。また一方で、低学年の子どもたちには、あいさつの気持ちよさを感じてほしいと考えます。

あいさつの大切さを子どもたちと確認し合い、あいさつあふれる玉諸小を目指して取り組んでいきたいと思っています。子どもたちは、学校・家庭・地域で育っていきます。学校でも家庭でも、そして地域でもあいさつの輪が広がっていくことを願っています。



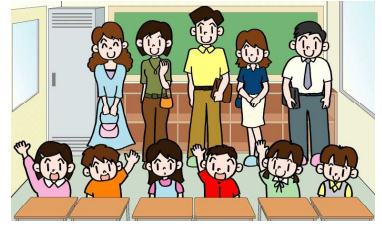
【第1回代表委員会の様子】

午前5時間制本格導入！

本校は、昨年度までの2年間、甲府市教育委員会より「甲府の子どもの教育総合推進校」の指定を受け、教育課程の研究を進めてきました。具体的には、「時間」という限られた資源をどのように教育内容と効果的に組み合わせるのかという視点から、児童の生活時間及び教職員の指導時間を効果的に配分し、「午前5時間制」の試行を実施しました。その結果、児童の学びにとってメリットになることがいくつか明らかになってきました。メリットとしては、①授業時数の確保、②生活習慣の確立、③ゆとりの時間の創出、④「たまなび」の有効活用などです。今年度は、これらのメリットを生かし、年度を通して「午前5時間制」を実施します。また、3～6年生では全クラスで一部教科担任制を取り入れていきます。今後も子どもたちがより良く学び成長していくことを常に心に据えて、教育活動の充実を図っていきます。



学校と家庭との連携を密に 学級懇談会ありがとうございました



4月24日の学級懇談会には、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症対策のため、授業参観のかわりに、ビデオ視聴を通して子どもたちの様子をご覧いただきました。その後は、学年目標・学年経営などについて話し合いました。子どもたちは大きな可能性をもっています。夢や希望をもち、それに向かって歩み続けていくことができるように指導、支援していきたくと考えています。また、専門部会では、今年度の活動の見通しを持つことができました。

有意義な個別懇談に

4月27日から5月7日までの5日間にわたって実施している個別懇談には、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。

個別懇談を通じて、保護者の皆様と直接、子どもたちについて話したり、保護者の皆様の思いや考えを直にお聞きしたりすることは、教育活動にとっても役立ちます。今後も、学校と家庭との連携を密にしながら指導にあたっていきたくと考えています。

PTA総会へのご参加を

5月14日(金)に開催予定のPTA総会では、昨年度の活動等の報告、今年度の新役員の承認、活動方針などについて話し合われる予定です。家庭と学校が、相互に理解と協力を図っていく契機にしていきたくと考えています。ぜひご参加ください。

学校だよりのHP版を
ご覧いただけます。



玉諸小学校の校歌の由来

本校の校歌が制定されたのは、昭和39年(1964年)10月7日、今から54年前のことです。校歌には、この地域の自然や歴史を織り込み、子どもたちに明るく元気に育ってほしいという願いが込められています。

玉諸小学校百周年記念誌「玉諸小学白寿史」には、次のように書かれています。

「柳の新緑、開き始めた桜のつぼみ、校舎の周りは見渡す限り一面のレンゲ畑。昭和39年の春、新校舎の屋上へ上られた向井房恵先生はあまりの美しさに「夢の国ふさほろのようだ。」と感嘆されたという。それから、玉諸神社をはじめ土地の様子をいろいろ調べられ、明るく力強い校歌を作詞して下さった。なお、それ以前には校歌はなかった。」

玉諸小学校校歌

作詞 向井房恵
作曲 坂口五郎

一 夢の国かとまごうほど
広いすがしい玉諸の
柳さくらとつどいたる
学びのにわのゆかしさよ

二 ながめ雪山遠けれど
朝は朝風 夕日かげ
まもる力もうるわしの
野にはれんげの花ざかり

三 春秋ここにいくめぐり
やしろのゆかりとおくとも
新産業にうち向う
六年をほまれのが母校

▶ 校歌作詞者の向井房恵ふさほろさん(1889-1975)は、北巨摩郡熱見村(現在の北杜市高根町)出身。谷村工商校長、甲府市助役、第1回公選山梨県教育委員長などを歴任、県教育功労者。玉諸小校歌のほか、里垣小、国母小、貢川小、東小、明見小、秋山中、ろう学校などの多くの校歌や山梨青年団歌などを作詞しました。

▶ 校歌作曲者の坂口五郎さん(1901-1975)は、長野県長野市出身。山梨大学教授、同大学名誉教授、帝京短期大学教授などを歴任、県政功績者。玉諸小校歌をはじめ、里垣小、国母小、明見小、谷村第二小、敷島中、双葉中、峡南高校、山梨学院大学などの多くの校歌のほか、山梨県の体育祭りの歌、山梨観光音頭、山梨遊覧小唄などを作曲しました。

